

事例 ①教育、スポーツ及び、文化・芸術の振興に関する事業

小中学校施設維持管理業務

子どもたちの安心・安全な教育環境の確保のため、学校施設や設備の維持管理に寄附金を活用しました。

また、景観維持や環境整備のため、敷地内の草刈りや雪かき、樹木の剪定なども行いました。



鹿部小学校



鹿部中学校

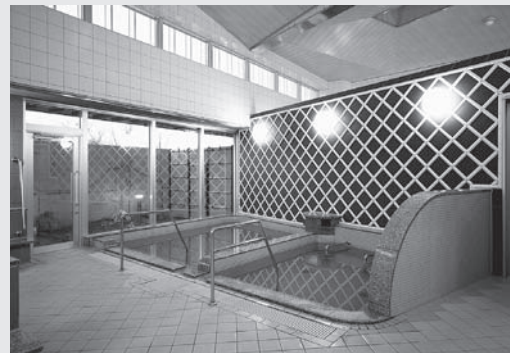
事例 ②健康、福祉及び医療充実に関する事業

いこいの湯運営維持管理事業

町では、満60歳以上の町内在住の方を対象とした温泉施設「鹿部町いこいの湯」を運営しています。

心身の健康維持増進、福祉の向上を目的とした施設であり、コミュニケーションの場にもなっています。

快適な環境で利用していただくため施設設備の定期的な保守点検や修繕、部品交換など施設の維持管理に寄附金を活用しました。



いこいの湯

事例 ③地域産業の振興に関する事業

観光PR事業

町の観光スポットや特産品を多くの方に知っていただき、来町のきっかけづくりや販売促進となるよう、多方面において観光PR事業を行うため寄附金を活用しました。

○PR内容

- ・伊藤大海投手が勝利投手となった際の鹿部町特産品プレゼント企画（ラジオ局とのコラボ企画）
- ・鹿部町PRテレビコマーシャル放送
- ・民間バスの車体に鹿部町のPR広告掲載
- ・一流シェフの団体が発行するカレンダーに鹿部町の特産品たこを掲載 など



伊藤大海投手勝利プレゼント企画内容の一例

食による観光振興事業

町では、「食」をきっかけとした地域振興を目的に、同じ志を持った「にっぽんA級グルメのまち連合」に加盟し、移住促進・観光誘致・食のPR活動など各種事業の取組みに寄附金を活用しました。

町単独としても町内外の方を対象に、町の特産品PRを目的に「A級グルメオンライン教室」の開催や、新たな販路拡大を目的に道内外において物販等も実施しました。



A級グルメオンライン教室の様子